

海外のフィルターを通して

高松市立高松第一高等学校 2年 岩瀬 七虹

地方の魅力を発信し、外国人観光客や投資の誘致を目指す外務省の「地方を世界へ」プロジェクトの一環で、岸田外務大臣やノルウェーやカナダなど 10 か国の大使らが 7 月 22 日香川県を訪れた。このプロジェクトは、昨年 11 月にスタートし 6 回目となる今回、私たちの街、香川が訪問先として選ばれた。特別名勝栗林公園や小豆島を視察し、うどん打ち体験や瀬戸内国際芸術祭の作品鑑賞を通して外国人観光客の誘致に力を入れる香川の魅力に触れた。今回のプロジェクトから、これからは商品の所有に価値を見出すモノ消費から商品やサービスを購入したことで得られる体験に価値を見出すコト消費に変化しているのだと強く感じた。

これまでの旅行者は、日本で商品を購入することに価値を見出してきた。高いクオリティで、安心安全な日本ブランドの商品を手に入れようと、中国から多くのツアー客が来日し、一度に大量の商品を購入する「爆買い」が話題となったのは記憶に新しい。大きなスーツケースを抱え、家電や医薬品を大量に購入していく様子を、ニュースで見ない日はなかった。しかし、今「爆買い」のニュースを見ることはなくなってしまった。日本から他の国へ旅行先が移ってしまったのだろうか？決して、彼らが日本を訪れなくなったのではない。モノ消費からコト消費へと変化したのだ。日本へ何度も旅行にやってくるリピート客が増えたため、その地でしかできないことを体験することへと興味が変わり、多くの人が体験するために日本を訪れている。コト消費によって、モノ消費中心であった旅行と何が違うのか。自分自身の経験から考えてみようと思う。

香川県は温暖な気候のため冬に雪が降ることは稀である。そして、降った雪が積もり、しかもその雪がふわふわであることはほとんどないため、雪に対する憧れが他県民より強い。小学生の時である。長期の休みには鳥取県へよく旅行に行っていた。真冬だったので、ある地点より先に行く高速道路を走る車はスタッドレスタイヤに履き替えるか、チェーンをタイヤにまく必要があった。雪国の雪を知らない私たち家族は当然スタッドレスタイヤがあるはずもなくチェーンをまくこととなった。慣れない作業に悪戦苦闘する父を横目に、私と妹はすっかり雪遊びに夢中になった。今までに経験したことのないふわふわの雪がたくさん積もっていたことを今でも鮮明に思い出すことができる。タイヤの前輪と後輪を間違えて巻いてしまいやり直すことになったと知った時には、落胆していた父には悪いが、雪遊びの時間が延びたことがとてもうれしかった。結局途中までしか行けず目的地には着かなかったが、雪遊びの思い出は今も楽しかった思い出として心に残っている。

このような経験から、自分の住んでいる場所では体験できないことや非日常的な体験は心に残り、また行ってみたいと思うのではないかと考察する。やはり旅行に求めるのは、日常とは離れた異郷の地ならではの出来事である。お金や時間を使うのだから、どこでも

できることではなくその地でしかできないことをしたいという海外からの旅行者の願いに応えることが地方創生につながると考える。

香川県で体験できることと言えぼうどん作り体験だ。うどんは、香川県民のソウルフードとしてとても有名である。多くの人がうどんを食べにやってくる。自分でもうどん作りを試みたくなる人もいるだろう。なぜなら作ることから食べることまで体験することを通じて家族や友達との時間を共有することができるからだ。難しい作業に苦労しながらも家族や友達と楽しく作ったうどんには、普通のうどんの何倍も思い出が詰まっておいしいに違いない。香川以外でうどんを食べていてもすぐ、この香川での楽しいうどん作り体験が思い出されるだろう。うどん＝香川というイメージを海外からの旅行者に浸透させることで、また香川へうどんを食べに行きたい、香川を知りたいと思わせることができる。また、讃岐うどんの良さを海外の人に知ってもらうことは、私たちにとっても、香川の良さを見つめ直すきっかけにもなる。海外に讃岐うどんの魅力をアピールするときには、良いところを探そうとする。その時、今まで知らなかったことを知り、今までとは違った視点から良さを発見することができる。香川に愛着が湧き同時に誇らしく感じるだろう。自分の住む土地に愛着があれば、地元の大学に進学したいと考える人や、他県の大学に進学したとしても香川で就職したり香川に貢献したりしたいと考える人も増えるはずだ。これによって、人口流出の問題は解決されると考える。

また、香川は穏やかな瀬戸内海に浮かぶ多くの島も有名である。美しい島々はアートの島として近年、瀬戸内国際芸術祭などで有名になった。島それぞれで違う雰囲気を感じるために訪れる人が多い。訪れる人は、島の人たちのあたたかさに触れ、この温かいおもてなしの心は人をひきつけ、また来たいと思わせる。毎日を、せわしなく生きている私たちにとって、瀬戸内ならではののんびりした時間を過ごすという、ここでしかできない体験が魅力なのだ。のんびりとした雰囲気に魅せられ、移住を希望する人が増えるならばこれもまた、人口流出を止める手立てとなる。

このように、香川の良さや魅力を考えて。このことから世界へ香川の魅力をアピールすることが、自分たちの考えや捉え方を改めさせ、人口流出に歯止めがかかり労働人口等の問題が解決されると考える。今は SNS によって世界中から様々な情報を見ることができる。海外の人から香川の良いところを教えてもらうこともできる。ずっとその場所にいると、当たり前になって良さや魅力がわからなくなる。そんな時海外の人のフィルターを通した情報は、きっと新鮮に映るはずだ。香川で体験したことや知ったことなどの海外の人から見た香川を自分でも知ることによってさらに香川を好きになる。さらに香川を好きになった人は、SNS で広めてゆくように、良い連鎖がどんどん広がっていくことで、香川の魅力が世界中に発信されていく。自分たちが自分の街の良さを知るためには、旅行者や訪れた経験のある人の意見を聞くことが大事になる。世界中で利用される SNS を、情報を多くの人に知ってもらう手段としてどんどんと活用することが地方創生に大いに役立つのだと考える。香川の魅力を一般の人も発信できるので、これからの情報発信の手段となることを

期待する。

地方創生への第一歩は、自分の住む街の魅力を知ることである。自分の街の魅力を改めて見つめ直し、まずは家族とうどん作り体験を試してみようと思う。